

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市日ノ岡老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・通所介護事業及び京都市総合事業介護予防型デイサービスの実施
- ・営業日：月曜日～土曜日 但し年末年始4日間は休業
- ・営業時間：午前8時30分～午後5時45分
- ・利用定員：30名
- ・送迎、入浴、食事、機能訓練、レクリエーション、余暇活動等の提供、生活及び健康相談等を行い、安心して在宅生活を続けられるよう、またご家族の介護負担の軽減を図るよう援助する

2 事業実施内容

- (1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
老人福祉法第20条の2の2に規程する老人デイサービスセンターとしての事業及びその他京都市が独自に行う事業
- ・送迎、入浴、食事、機能訓練、レクリエーション、余暇活動等の提供、生活及び健康相談、ご家族の介護負担の軽減
 - ・体操や作品作りなど、本人の好みに合わせて参加していただく
 - ・リハビリの充実を図るため、滑車運動やペダル漕ぎ、フットマッサージ機を活用
 - ・口腔ケアの推進

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。）
なし

自主事業の実施状況は、以下の通り。
なし

3 サービス提供状況

管理者 1名 生活相談員 2名 看護師兼機能訓練指導員 3名 介護職員 4名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

- ・厨房業務

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業を優先して発注するよう努めた。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数

① 令和5年度実績値 人

② 令和6年度目標値 人

(2) 実利用者数

① 令和5年度実績値 人

② 令和6年度目標値 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	46,518,410
利用料収入	9,429,187
委託料収入	
補助金収入	1,204,501
寄付金収入	
雑収入	
その他	
収入計	57,152,098

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	34,522,682
事業費	8,779,921
委託費	3,985,539
小額修繕費	170,500
その他	6,032,009
支出計	53,490,651

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

利用者満足度アンケートは実施できていないが、職員が普段の会話や個別の聞き取りなどを通して利用者の希望等の把握に努めた。行事や食事、レクリエーションについて主に聞き取りを行い、申し送りや職員会議にて情報を共有した。また利用者一人ひとりのサービス利用状況を毎月方向くすることで担当ケアマネージャーとも共有した。

(2) 利用者満足度把握の結果

レクリエーションについては概ね楽しまれているのですが、運動系のレクリエーションが好きな方と脳トレ系のレクリエーションが好きな方両方好きな方に分かれた。どれかが極端に少ないという事もなかった。今後もレクリエーションに偏りのないようにしていく。食事についてはメニューによって人気な物はよくできるように、不人気な物は今後出ないようになど対応している。行事についての評価も前年度の評価を参考に夏祭りを従来通り実施した。

(3) 意見等への主な対応状況

レクリエーションについては人気なものは再開催している。行事については翌年の開催時に意見を反映している。給食については委託業者と毎月の会議について情報を共有し、対応してもらっている。即時の対応が必要な事に対しては会議外でも共有し対応している。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

「日ノ岡デイサービスセンターを利用して良かったと思ってもらえるために利用目的に沿ったサービスが提供できるように」を年度目標にして取り組み、「デイサービスに来るのが楽しみ」とのご利用者の意見もあり、喜んでもらえていると感じられるサービスを提供できたのではないかと。一日平均21.0名を目標にして、毎月新規利用者を受け入れ1月、2月については平均より上回っており増加傾向であった。しかし、利用終了者も同数程度おり、当日キャンセルや入院、SS利用により実績としては一日平均17.7名となり目標人数に到達することはできなかった。今後については、送迎の乗車体制から送迎数やエリアを制限しなければいけないこともあり、送迎の増便や職員のスキルアップが求められる。利用者への接遇面では法人の倫理研修により平等について学び差別の解消について理解を深めた。また、職員の入れ替えや今までおこなっていたカットやコーヒー販売のサービス終了などにより「残念」と言うご利用者様からの意見もあり、それに変わる「なにか」を見つけていくのが来年度の課題となった。